



《14》 ススキ (芒)

イネ科

今さら説明の必要のないもので、野から山の乾いたところに群がってはえ、銀色に光る穂は秋の風物として欠かせない草であります。

尾花の名で“秋の七草”の一つに入っていますが、昔から詩や絵画に多く表われ、よく知られている句に

「山は暮れて野は黄昏のすすき哉」 蕪村

があります。

銀色になったものは実の状態で、花の時は写真のように黄褐色か、褐色です。似たものにオギがありますが、これは湿地に多くて、穂はすすきよりもふさふさしています。実のときのいろはススキは白で、オギは銀白色です。